

パワーシステム事業部

佐藤 俊彦

Toshihiko Sato

2005年度のパワーシステム事業部の主な製品開発は以下のとおりである。小容量電源装置は、新たな方式である3モード方式(給電品質優先モード、効率優先モード、アクティブフィルタモード)

を採用した「SANUPS E11A」を開発した。

中容量電源装置では、リチウムイオン電池を使用し、瞬時電圧低下から瞬断停電までバックアップ可能な軽量化、長寿

命化の無停電電源装置(以下、UPSという)として「SANUPS E23A-Li」を開発した。

■ハイブリッドUPS「SANUPS E11A」の開発

サーバ、ルータなどのネットワークシステム構成機器への信頼性、安定した運転の維持管理が重要となってきており、これらの機器へ電源を供給するUPSも高機能、高信頼が求められている。また、環境保護の観点からは消費電力を抑えた効率の高い製品が求められている。このような背景から、安定した電力供給、保守性の向上、電源安定時の無駄な電力消費の削減を目標に「SANUPS E11A」を開発した。

「SANUPS E11A」は、新たな方式として、3モード方式を採用している。この方

式は給電品質優先モード、効率優先モード、アクティブフィルタモードの3つのモードからなり、電源事情、負荷状況に見合った給電モードをUPSが自動的に選択する。

給電品質優先モードは、電源事情が悪いときに選択され、負荷に高品質の電力を供給する。効率優先モードは、電源事情がよいときに選択され、変換効率95%で運転し、消費電力を削減する。アクティブフィルタモードは、負荷力率が悪いときに選択され、負荷から発生する高調波を抑制し、入力力率を改善する。



■ リチウムイオン電池を用いた中容量UPS「SANUPS E23A-Li」の開発

コンピュータをはじめとして各種情報・通信機器の電源として供されるUPSはいかなる場合においても電力を供給する使命と信頼性が求められてきた。さらに、環境保護の観点から消費電力の抑制、有害物質の削減が求められている。今回、瞬時電圧低下から瞬時停電までバックアップ可能な小型・軽量化、環境にやさしいUPSを目標にリチウムイオン電

池を搭載した「SANUPS E23A-Li」を開発した。

「SANUPS E23A-Li」は、高効率で過負荷耐量のあるパラレルプロセッシング方式の「SANUPS E23A」に従来の鉛蓄電池の代替としてリチウムイオン電池を搭載し、小型・軽量、長寿命の環境にやさしいUPSを実現した。



佐藤 俊彦

1977年入社

パワーシステム事業部 設計第三部
電源システムの開発、設計に従事。